

2018年度 運輸安全マネジメントの取り組み

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長及び経営トップは、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、安全確保体制の整備に努めるとともに、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。また、現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し安全理念等の浸透を図り、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- (2) 安全マネジメントの取組みは毎事業年度策定し、「計画の策定・実行・チェック・改善（PDCA）」を確実に実行し、全社員が一丸となって輸送の安全の確保に努めます。
- (3) 輸送の安全に関する情報について積極的に公表します。

2. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

(1) 2017年度

	2017年度目標	2017年度実績
①交通事故発生件数	0	0
②重大事故発生件数	0	0
③有責事故発生件数	0	0
④飲酒・酒気帯び	0	0

(2) 2018年度

	2018年度目標	
①交通事故発生件数	0	
②重大事故発生件数	0	
③有責事故発生件数	0	
④飲酒・酒気帯び	0	

※①重大事故を除く有責・無責全ての事故件数

※④アルコールチェック時に検出されたものも含む

3. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

	重大事故		交通事故	
	目標	実績	目標	実績
2017年度	0件	0件	0件	0件

*交通事故は重大事故を除く有責・無責すべての事故

4. 安全管理規定

当社の安全管理規定は別紙のとおりです。

5. 輸送の安全のために講じた処置及び講じようとする処置

(1) 2017年度に講じた処置

- ① 飲酒運転に関して外部講師による研修
- ② タイヤチェーン点検時に装着訓練も実施
- ③ 同業他社の事故を受けて出された通達、またバス協会の「安全確保のための取組方針」に基づき、乗客のシートベルト着用促進を図る

(2) 2018年度に講じようとする処置

- ① 社会保険労務士と契約し、労務管理からも安全の確保を図る
- ② デジタコ・ドライブレコーダーを活用した指導教育
- ③ 遠隔地でのITを利用したアルコールチェックの導入
- ④ 睡眠時無呼吸症候群の検査実施・指導
- ⑤ 輸送の安全に関する予算

1、車両の安全対策

新ドライブレコーダー・新GPSデジタルタコメーター

年間 13台 6,500,000円

新車導入（衝突軽減ブレーキ等安全装置搭載車両）

年間 1台 44,000,000円

2、乗務員教育費用
適性検査・脳ドック等
年間 500,000 円

6. 輸送の安全に関わる情報の伝達体制その他の組織体制

安全管理規定をご参照ください。

7. 輸送の安全に関する教育及び研修計画

(1) 2018 年度の教育及び研修の実施状況

- ① 乗務終了後に懇談会を行い、情報の共有化と安全について考える時間をつくる。
- ② 毎月の乗務員教育に外部専門者の指導を取り入れる。

(2) 2018 年度の実施予定

- ① デジタコ・ドライブレコーダーの情報を基に、客観的データを生かした指導教育を実施する。
- ② 軽微な事故（自損事故）でも全員で情報を共有することにより、全員の安全な対する意識を高めます。

8. 輸送の安全に関する内部監査計画

安全管理規定第 15 条に基づき平成 28 年度中に内部監査を実施。

9. 安全統括管理者に関わる情報

常務 堀 政雄

10. 行政処分

2017 年度 行政処分なし